

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成24年度 内閣総理大臣賞 「個人・グループ・学校」分野 受賞	受賞者名
	特定非営利活動法人ごみじゃぱん
	所在地
	兵庫県神戸市
	受賞テーマ
	無理なく容器包装廃棄物の発生抑制を実現する「減装（へらそう）ショッピング」

1. 活動継続 あり

事業規模の拡大はしていないが、各地域やスーパーマーケットでのイベントへの出店や、東京丸の内でのワークショップなどの企画と実施、企業との連携や営業活動など継続して活動が続けている。



豊中市主催の
環境イベントに参加



東京丸の内でのワークショップの様子

2. 活動の広がり あり

山崎製パン様のパンに、減装マークのついた商品が続々と投入されている。

主力級（TVCMにも登場）の商品の多くがどんどん容器包装が少ない「減装仕様」に変更されてきており、企業としての容器包装削減活動が継続し、かつ拡大して取り組まれていることを示している。この山崎製パンの姿勢は、社会全体の容器包装削減への取組応援を含めた意味も込められており、企業としての活動を越えた社会的活動になっているとも考えている。パンの分野では、他社製品も年々容器包装が削減されてきており、大手企業による投入が他メーカーを安心させ、市場全体の容器包装が削減方向に向かうモデルケースとなっている。



3. 活動の進化 あり

2014 年度に低炭素杯環境大臣賞金賞を受賞した。



2017 年 1 月に事務局長が交代し体制を変更した。新事務局長は企業経営の経験があり、調査分析の専門家でもある。従来よりごみじゃぱんの活動を調査面から支援してきた経緯もあり、企業連携等を強化している。

4. 今後の計画

これまでの活動を振り返り、もう一度神戸での活動を充実させていく。神戸市内にあるダイエーさんと共に、メーカー各社も巻き込みながら、減装ショッピングの普及啓発活動を展開していく。また、容器包装の発生抑制のみならず、食品ロスについても活動をはじめており、容器包装と食品ロスの発生抑制を今後さらに進展させていく。

(次頁に表彰概要掲載)

【表彰概要】

同 NPO 法人は、2007 年から、神戸大学の学生が主体となり、事業者・行政・大学・地域団体の協力・支援を得て、減装（へらそう）ショッピング事業（以下、本事業）を展開している。

ごみじゃぱん代表理事が座長を務めた委員会で、生活者は普段の買い物で包装ごみを意識しないが、簡易な包装の社会的なメリットを説明されると、包装の簡易な商品を選ぶとの調査結果が得られた。これを実証し、社会へ定着させることを目的として、本事業を展開している。

事業内容は、商品を生活者目線で分類、中身当り包装重量が軽い商品を減装商品として商品棚にカード等で表示し、推奨する。その後、意識（アンケート）、実際の行動（販売データ）を分析し、約 1 割程度の販売促進効果を実証した。このような事業は世界的に見ても殆どない。

2007 年に 1 店舗（コープこうべ）で 1 ヶ月間の活動を開始し、2009 年～2010 年にはダイエー社、イオン社の協力も得て、3 店舗で 12 ヶ月間実施した。

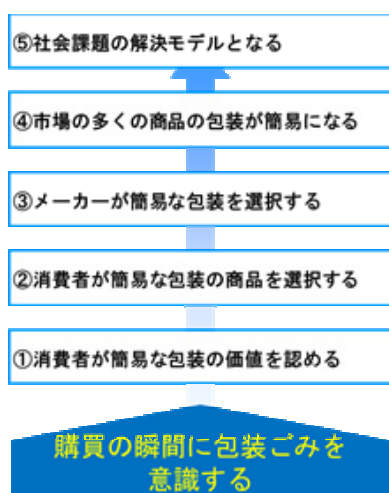
2011 年には、ダイエー社が神戸市内直営全店舗（22 店舗、無期限）で活動を開始し、本事業は実験段階を脱し、神戸市内での定着という段階となった。

また、同じく 2011 年に、山崎製パン社と協力し基準を満たす製品へのマーク印刷実験事業を開始。7 商品を半年で累計 740 万個全国販売した。商品へマークを印刷するという実績を作った他、草の根ブログで好意的に取り上げられる等、全国での認知拡大も始まっている。

2012 年にはユニー社、ドラッグユタカ社の協力により大垣市で実験開始、全国展開を目指し規模拡大中である。



（包装へマークを印刷したパン商品）



具体的な実施内容は、次のようなものである。まず消費者にどの商品が容器包装の量が少ないかを提示するために、スーパーマーケットで販売されている商品を購入し、中身を取り出し、容器包装の重量を計測して、商品ごとのデータを作成する。

次に、得られたデータを元に、その商品カテゴリー（カテゴリーは、ごみじゃぱんの任意）の中身あたりの容器包装量ランキングを作成し、上位 30%程度をごみじゃぱんの「推奨商品」とし、写真 3 のように POP で目印を付け、推奨する。さらにポスターやイベント等の啓発活動を行うことで、認知や理解度を深めている。

消費者が実際に商品を買う場において、適切な情報提示とその認知が必要であるとの考えから、現場重視型の活動を行っている。

また、新聞やテレビなどのマスメディアへの広報活動に努め、より多くの人にマークの認知と内容の理解を広めていくことで、マークの掲示されている商品の購入経験のある人を増加させていく活動を行っている。



(写真 1 : 容器包装の中身出しと拭き)



(写真 2 : 電子天秤で計測しデータ化)

